アイバサンケイ 株式会社

SDGs宣言

当社は、「安全で快適な住まいと信頼ある心のこもった介護サービスを提供いたします」をモットーに、人と人との絆を大切にすることを原点とし、当社に関わるすべての人の人生を豊かにする企業を目指し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

2023年6月30日
アイバサンケイ 株式会社
代表取締役　中内 孝利

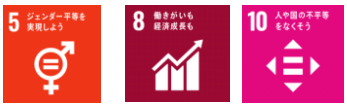
■ SDGsの達成に向けた取組 ■

多様な人材活用

性別、障がい、国籍、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。

【具体的な取組】

- ●社内の規程・方針の見直し
  （性別や障がい、国籍による給与、労働時間、待遇に関する差別の撤廃等）
- ●採用条件等の見直し（適切な採用者男女比率、不適切な採用選考の撤廃）
- ●社内教育を通じた周知　●外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備



環境に配慮した廃棄物の削減

プラスチックによる海洋汚染を防ぐため、プラスチックの削減や適切な利用を推進します。

【具体的な取組】

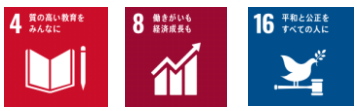
- ●分別の徹底や地域ボランティア等への参加
- ●ペーパーレス化の推進、一部業務のＩＴ化を検討
- ●マイボトル・マイバックを社内周知しプラスチックの利用・排出を抑制

コンプライアンス

会社の信用とステークホルダーの利益を守るため、強固なコンプライアンス体制の構築と意識の醸成を図ります。

【具体的な取組】

- ●コンプライアンス委員会やワーキンググループ等の立上げ
- ●コンプライアンスマニュアル（従業員の行動基準や基本方針等）を作成・周知
- ●コンプライアンスに関する研修の実施
- ●個人情報保護に関する社内規程の整備



地域の福祉・スポーツ・芸術活動支援

地域との良好な関係性を築くため、地域の福祉・スポーツ・芸術活動等に関する取組みを行います。

【具体的な取組】

- ●地域の医療・福祉施設と連携
- ●地域のスポーツイベントへの協賛・参加の推進
- ●行政と連携し、地域イベント・高齢者向けイベントへの参画

SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

本宣言書は栃木銀行のサポートのもと作成しております　栃木銀行